

【施工部位のチェック】

- ・ 目地セメントの施工は、タイルの張付材が十分に硬化してから行なってください。
- ・ 施工時は、施工面が直射日光、雨、雪、強風にさらされないようシート掛け等によって保護してください。
- ・ せっき質タイル、粗面のタイル、無釉タイル、白系色タイルへの施工は、タイルに付着した目地汚れが取れにくく、タイルの色調を損なう場合がありますので、必ず事前に試験塗りを行なってご確認下さい。
- ・ モザイクユニットタイルへの施工の場合は、タイル表面にユニット紙の糊が残存していないか確認してください。ピンホールや色ムラ、タイルの汚れ等の原因になりますので、施工の前に十分に除去しておいてください。
- ・ 充填する目地部が浅すぎると、硬化後の目地セメントに色ムラの生じることが懸念されますので、浅すぎる場合は、はつり取るなどして充填する目地部の深さを確保して下さい。(推奨目地深さを表 3 に示しています。)

【施工方法】

1. 材料の混練

- ・ 表 1 の調合に基づき、目地セメントを練り混ぜてください。
- ・ バケツに練り水を入れ、目地セメント粉体を徐々に加えながら、機械器具(ハンドミキサー等)を用いて練り残のないよう十分に練り混ぜてください。
- ・ 練り混ぜた材料は 60 分以内にご使用ください。

表 1

調合	目地セメント粉体	上水道水
	25kg	5.5~6 ℓ

- ・ 色調に不具合の生じることがありますので、水量は指定範囲からはずれないようにしてください。
- ・ 練り足しや水を加えての練り直しは行なわないでください。

2. 目地詰め

- ・ タイルの側面や張付材の吸水が激しい場合は、硬化不良やひび割れ予防のため目地部分に水湿しを施して目地詰めを行なってください。(目地セメント充填時に目地部に水が溜まっている場合は、色ムラ・白華現象等の原因になりますのでスポンジ等で吸い取ってください。)
- ・ 目地セメントの充填許容幅は 4~15 mm です。ただし、11~15 mm 幅の場合は目地押さえを行なってください。表 2 に目地幅に適応する充填工法を示します。
- ・ 目地深さは浅すぎると色ムラの原因になることが懸念されます。目地部に盛り上がりすぎたモルタルなどは、はつり取るなどして最低限の深さを確保してください。表 3 に推奨目地深さを示します。

表 2

目地幅	充填工法
4~15 mm (11~15 mm)	塗り込み目地工法 (要 目地押さえ)
8~15 mm	一本目地工法 (チューブ詰め)

表 3

目地幅	推奨目地深さ
4 mm 以上、8 mm 未満	3 mm 以上
8 mm 以上、	5 mm 以上

『 塗り込み目地工法 』

- ① 練り混ぜた目地セメントを、ゴムコテでタイル面から押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填してください。
- ② タイル汚れの拭き取りは乾燥具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイル表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻してください。
- ③ スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜めに拭き取ってください。
- ④ 汚れたスポンジは水洗いを行い、固く絞って③の拭き取りを繰り返してください。

《注意》 ・ 拭き取り後に目地表面に浮き水が残っていると色ムラの原因になりますので、浮き水が残らないようご注意ください。(拭き取り時のスポンジの水分に注意してください。)
・ 場所によって拭き取るタイミングに差がでると、色ムラの恐れがありますのでご注意ください。

- ⑤ 目地幅 4～10 mm の場合は③・④の繰り返しで仕上げ完了。 11～15 mm の場合は⑥へ
- ⑥ 目地幅が 11～15 mm の場合は、乾燥具合を見計らって、目地幅に合った目地ゴテを使用して、充填した目地部を押さえて仕上げを行ってください。

《注意》 ・ 押さえ仕上げ時に目地セメントが軟らかすぎた場合や、硬くなりすぎたために水で戻したりすると色ムラの原因となりますので、一定の硬さのタイミングで仕上げを行なって頂きますようご注意ください。(乾燥具合は気温・湿度等に施工環境に影響しますのでご注意ください。)
・ 押さえに力を入れすぎると欠損やひび割れの生じることがありますのでご注意ください。

『 一本目地工法 (チューブ詰め工法) 』

- ① 目地詰め用チューブに練り混ぜた目地セメントを詰め、目地部に沿って絞り出すように充填してください。
- ② 乾燥具合を見計らって、余分な材料は目地ゴテで除去し、目地幅に合った目地ゴテで充填した目地部を押さえて仕上げを行ってください。

《注意》 ・ 押さえ仕上げ時に目地セメントが軟らかすぎた場合や、硬くなりすぎたために水で戻したりすると色ムラの原因となりますので、一定の硬さのタイミングで仕上げを行なって頂きますようご注意ください。(乾燥具合は気温・湿度等の施工環境に影響しますのでご注意ください。)
・ 押さえに力を入れすぎると欠損やひび割れの生じることがありますのでご注意ください。

3. 養生

- ・ 施工後2日間は、施工面が直射日光、雨、雪、強風にさらされないようシート掛け等によって保護してください。
- ・ タイル表面の水洗いを行なう場合は、目地セメントの材齢が7日間以上経過してから行ってください。

※ 塗り込み目地で押さえないまま仕上げた場合は、色ムラが生じやすいので原則として酸洗いを行ってください。

酸洗い方法：対象部分付近の金属部材を養生し、対象部およびその周辺に散水を施し、濃度 3%以下の塩酸でブラシを用いて洗ってください。（こすりすぎた場合、骨材が露出し色調に不具合の生じることがありますのでご注意ください。）

白華現象(エフロレッセンス)が生じた場合も同様に酸洗いを行なってください。

なお、酸洗いは材齢 2 週間以上経過してから行なってください。

酸洗い作業は、必ず現場管理者の承認を得て行ってください。

【取扱上の注意事項】

- ・ 製品の保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に載せて床から離してください。
- ・ 製品は製造年月日を確認して、4ヶ月以内にご使用ください。
- ・ 固まった製品の使用は避けてください。
- ・ 気温が 3℃以下および 3℃以下になると予想される場合は、施工は行なわないでください。
- ・ 製品には弊社の指定する材料以外の混入は避けてください。
- ・ 製品のお取扱に際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用の上、適切な安全対策を実施してください。

- 本施工要領書は、作成した時点で入手した情報に基づいて作成しており、断りなく変更することがありますことをご了承下さい。

二瀬窯業株式会社

本 社： 〒820-0044 福岡県飯塚市大字横田 669
TEL (0948)22-0447/FAX(0948)29-0289